

令和 7 年 10 月 25 日

広報広聴常任委員会

委員長 広田 久男 様

東員町議会 議員 三宅 耕三

研修（視察）報告書〔広報広聴常任委員会〕

研修期間	令和7年10月23日（月） ～ 令和7年10月24日（火）【 2 日間】
研修（視察）先	1, 神奈川県開成町議会 2, 神奈川県寒川町議会
目的（テーマ等）	1, 広報広聴の取り組みについて 2, 議会広報広聴活動について
参加議員名 （複数の場合）	◎委員長 ※オブザーバー 1、広田久男 2、伊藤まり 3、片松雅弘 4、三林浩 5、山崎まゆみ 6、三宅耕三
資料添付の有無	有 ・ 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

広報広聴の取り組みにつて（開成町）

1. 研修目的

近年、議会活動において住民との「対話」と「発信」はますます重要となっており、議会の広報・広聴活動の充実が議会改革の柱の一つとして全国的に注目されている。

そこで、広報紙の工夫や新たな情報発信手法など、先進的な取り組みを行っている神奈川県開成町議会を訪問し、広報・広聴活動の実践例を学ぶことで、本町議会の今後の広報広聴活動の参考とすることを目的として視察を行った。

2. 研修内容

視察は議会運営委員長の司会進行のもと行われ、冒頭に副議長から歓迎のあいさつとともに町の概要説明があった。開成町は県内で最も面積が小さい町であるが、住みよさランキングで上位に位置し、コンパクトな行政運営と住民との近い関係づくりを特色としている。

続いて、広報広聴委員長より、議会だよりの編集方針や発行体制、住民からの反応について説明があった。特に、写真や見出しの工夫、わかりやすい記事構成など、読みやすさを重視した誌面づくりに力を入れており、議員全員が編集に主体的に関わっていることが印象的であった。

また、視察団のために特別に用意された「ウェルカム動画」が上映され、議会事務局が作成したもので、私たちの訪問の様子をリアルタイムで取り入れた臨場感ある映像であった。こうした動画制作も議会広報の一環として実施しているとのことで、情報発信に対する意識の高さが感じられた。

3. 所 感

今回の視察では、開成町議会が住民に「親しみやすく、伝わる議会」を目指してさまざまな工夫を凝らしていることを実感した。特に、議会だよりを単なる活動報告書ではなく、住民に読んでもらう“メディア”として位置づけ、デザイン性やタイムリーな情報発信に力を注いでいる点は大いに参考となった。

また、視察者を歓迎するために動画を制作するなど、議会事務局と議員が一体となって発信に取り組む姿勢は、議会全体の意識の高さを象徴している。こうした柔軟で創造的な発想は、本町議会の広報広聴活動を進化させるうえで大きなヒントとなった。

今後は、本町でも住民との距離をさらに縮める工夫を取り入れながら、わかりやすく、身近に感じてもらえる議会広報を目指して取り組んでいきたい。

以上

議会広報広聴活動について（寒川町）

1 研修目的

本研修は、寒川町議会における広報広聴活動の取組状況を学び、東員町議会における今後の議会広報活動の充実および住民との意見交換の在り方の検討することを目的として実施したものである。あわせて、同議会の議会改革全般に関する取組姿勢についても理解を深めることを目的とした。

2 研修内容

冒頭、議長より歓迎の挨拶があり、その後、事務局から寒川町議会における広報広聴活動の一連の流れについて説明を受けた。説明後の質疑応答では、広報広聴委員会の正副委員長が対応し、具体的な編集体制や住民への発信方法、意見の集約の仕組みなど、実務的な内容について丁寧な回答がなされた。

寒川町議会では、単なる情報発信にとどまらず、議会改革全般においても積極的な姿勢が見られた。議員報酬については東員町より 10 万円以上高く、政務活動費は 2 倍の水準であり、議員活動の充実に必要な環境整備が進められている。不定期ではあるものの、これまでに複数回の報酬改定が行われており、社会情勢や議員活動実態に応じて見直しを実施している点が印象的であった。

一方で、報酬水準が高いとはいえ、それだけで生活が成り立つわけではなく、議員活動の負担感や責任の重さとのバランスを模索している現状も率直に語られた。全国町村議会議長会においても、議員報酬の適正化や引き上げの指針が示されている中、寒川町のように具体的な対応を進める議会の姿勢は参考になると感じた。

3 所 感

今回の研修を通じ、寒川町議会が広報広聴活動を軸に住民との双方向の議会づくりを推進していること、また議員活動を支える制度面でも前向きに見直しを行っていることを学ぶことができた。

一方で、東員町議会では議員報酬や政務活動費の見直しに関する議論が停滞しており、議長を中心とした積極的な検討姿勢が求められる。議員が安心して職務に専念できる環境整備は、最終的に町民のための政策提言力向上につながるものである。寒川町議会の取組を参考に、広報広聴活動のみならず、議会の体制強化全般について今後の議論を深めていく必要があると感じた。

以上